



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

フィジー共和国

— 2016年度 地域巡回機能回復等支援事業 —
(終了時評価—2017年4月)

事業概要

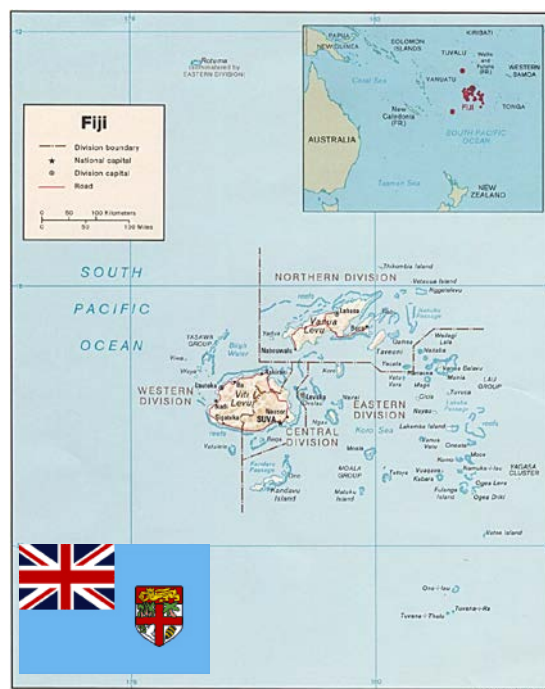
国名	フィジー共和国
プロジェクト名	2016年度 FDAPIN VIプロジェクト
実施期間	2016年8月18日～2017年3月31日
相手国政府覚書署名省庁名及び実施機関	覚書署名省庁： 漁業林業省 実施期間： 漁業林業省 水産局

プロジェクト実施の経緯と背景

フィジー共和国（以下「フィジー」という。）漁業林業省は、「ANNUAL CORPORATE PLAN 2016」の開発計画の中で食糧安全保障及び所得創出の観点から、製氷施設を含む Rural Fisheries Service Center（以下「RFSC」という。）の活用を取り挙げている。

こうした基本戦略の下、同国政府は、RFSC等水産関連施設の運営・整備を実施しているが、同国の水産関連施設は、故障や老朽化或いは運営管理の不備により、一部の施設は本来の機能を発揮することが出来ず、漁業開発の推進に支障を来している。

このため、フィジーは公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び管理・運営への指導・助言並びに現地技術者への技術移転についての



要請を行った。

財団は、我が国とフィジーとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興施策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	フィジーにおいて漁業の生産性が向上し、小規模漁業が発展する
プロジェクト目標	ブニセア周辺地域の水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上
成果	<p>1. 水産関連施設の修理・修復及び技術指導 ブニセア製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。</p> <p>2. 水産関連施設管理者への技術訓練 ブニセア製氷施設の漁業官2名、氷販売担当者1名らに対し、製氷機や発電機の定期的整備方法、データの記録方法等に関して指導することにより、施設の維持管理に係る能力が向上する。</p>
活動	<p>1. ブニセア製氷施設の修理・修復及び技術指導 発電機及びその他部品を交換することにより製氷施設を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術移転を行う。</p> <p>2. ブニセア製氷施設管理者への技術訓練 同製氷施設の氷販売担当者に対し発電機及び製氷機の整備方法、データの記録方法等に関する技術指導を行う。</p>
投入	<p>財団側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家： 〔巡回指導〕 チームリーダー兼冷凍機器・漁船機関専門家 1名 計画：2017年1月中旬～下旬（7日） 実績：2017年1月23日～1月28日（6日） 延日数 計画：（7日） 実績：（6日）（計画対比：85%） ・主な資機材： ディーゼル発電機（37KVA 超防音型）1台 他 ・事業費： 予算額 6,593千円 実績額 7,261千円（予算対比：110%） <p>相手国側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なカウンターパート： (1) ブニセア製氷施設の修理・修復及び技術指導 水産局 Fisheries Officer 1名

	<p>ブニセア製氷施設 Fisheries Officer 1名 (2017年1月23日～2017年1月27日)</p> <p>(2) ブニセア製氷施設管理者への技術訓練</p> <p>ブニセア製氷施設 Fisheries Officer 1名 カバラ製氷施設 Ice Attendant 1名 (2017年1月26日～2017年1月27日)</p> <p>・プロジェクト関連予算、土地、施設等： 製氷施設等技術移転に必要な施設の提供、水産局及び地方政府水産関連事務所における電気、水道及び電話の無償提供</p>
--	--

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、フィジーの策定した開発計画に掲げる「フィジー国内全ての施設での製氷機の氷生産・供給量を500MTの80%に近付けること」に合致した事業内容であり妥当と判断される。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

フィジー政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてブニセア製氷施設の修理・修復及び技術指導に対するニーズが高いことが確認されている。また、ブニセア製氷施設に氷の供給を依存している周辺の漁業者は27名を数え、当該施設の機能回復に裨益する周辺住民は多く(11,000人)、協力ニーズとの整合性は高い。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは直接環境に影響を与える活動はなく、交換済みオイル、廃棄部品等については、適切な措置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象施設は、製氷施設が主であり、周辺水域の水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

5. その他(プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等)

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

実施期間は計画内に収まったが、発電機の調達価格及び現地通貨レートの変動に伴い事業費は10%増加した。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施にあたっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標： ブニセア周辺地域の水産関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルは向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) ブニセア製氷施設の修理・修復及び技術指導

施設の修理・修復を行い、水産局のカウンターパート及び製氷機のオペレーターに修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の稼働が円滑になった。

<期待された成果>

ブニセア製氷施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術向上



〔カウンターパートによる圧縮機のオイル交換〕

(2) ブニセア製氷施設管理者への技術訓練

ブニセア製氷施設の氷販売担当者等に対し、製氷機の異常警報への対処法、水産局規定のログブックへの記入方法等に関して指導したことにより、施設管理能力が高まった。

<期待された成果>

ブニセア製氷施設の維持・管理に係る能力向上

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復に関する水産局のカウンターパートの技術が向上するとともに、ブニセア製氷施設の氷販売担当者の施設管理・運営能力が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。

ブニセア周辺地域の小規模漁業の振興を図る上で、当該施設の安定稼働は不可欠であり、同施設は上位目標達成のためのエンジンとして中心的な役割を果たすことが見込まれる。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が稼働し、周辺漁民に氷が安定的に供給されることになった。今後、当該製氷施設が順調に稼働すれば、氷を使った鮮度の良い良質の魚の首都スバへの販売が順調に推移し漁民の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果が見込まれる。また、氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設を担当する予定である。供与された資機材は、製氷施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。



〔ブニセア製氷施設：発電機の設置〕

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、フィジー政府はその年次活動計画によりブニセア製氷施設を始めとする RFSC の活用を推進しており、当該製氷施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識し、製氷施設運営のモニター及び財政支援を積極的に行うこととしている。従って、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上